

クラッチ

《クラッチ液の量の点検》
(Honda指定1年点検整備項目)

平坦地でメインスタンドを立て、ハンドルを動かし、リザーバタンクキャップ上面を水平にします。液面が下限(LOWER)以上にあることを確認してください。

液面が下限以下の場合は、クラッチシステムの液漏れが考えられます。異状箇所の修理やクラッチ液の補充はHonda販売店にご相談ください。

指定クラッチ液：
Honda純正ブレーキフルード DOT 4

アドバイス

- 銘柄の異なるクラッチ液を使用しないでください。
銘柄の異なるクラッチ液を使用すると、クラッチ液が変質したりクラッチ装置の故障の原因となることがあります。

